

令和3年度

おおいた産学官交流 合同シンポジウム

開催形式

オンライン
開催

令和3年

11.26(金)

13:30 ~ 16:00

グッドプラクティスの共有

地域課題解決に向けた産・学・官の連携による

「地域課題と 産学官の連携」

株式会社 大分うにファーム
代表取締役社長

栗林 正秀氏

漁業者の家に生まれ、幼少時代より国東半島の海で遊ぶ。建設業に勤務の後、国見町小熊毛港にて牡蠣養殖を始める。2017年からウニノミクス社と共同で、国東市での磯焼けウニの畜養試験に取り組む。2019年3月に株式会社大分うにファームを設立。



タイムスケジュール

13:30 ~ 13:40 開会挨拶

13:40 ~ 14:10 基調講演

ウニ畜養で地域経済活性化、漁業者支援、 環境保全を実現する世界初の循環型ビジネス

株式会社 大分うにファーム 代表取締役社長 **栗林 正秀氏**

過剰に増えたウニが海藻を食べつくす「磯焼け」は、漁場にも影響を及ぼしている。このウニは捕獲しても空っぽで、売り物にはならない。株式会社大分うにファームは、地域社会、漁師、地元企業、国内外の研究機関などとパートナーシップを構築し、この課題を解決しようとした。藻場を荒らすやっかいものを独自の技術で地域資源に変え、販売することで収益性を確保しつつ、環境保全にも貢献していくビジネスモデルを紹介する。

14:10 ~ 15:10 **グッドプラクティス事例紹介**

(1) 「竹田空き地戦略本部」プロジェクト

(大分大学)

(2) 止水プラグの研究開発

(日本文理大学・大分大学)

(3) 大学と駅と地域デザイン

(別府大学)

(4) 「看護」の視点を

ものづくりに活かす取り組み

(大分県立看護科学大学)

15:10 ~ 15:30 休憩

15:30 ~ 16:00 **パネルディスカッション**

●テーマ

「おおいた地域との産学官連携のあり方」

●ファシリテーター

大分工業高等専門学校
地域共創テクノセンター長・教授

尾形 公一郎氏

●パネリスト

大分工業高等専門学校
地域共創テクノセンター 教授

笠間 俊次氏

別府大学 文学部長
地域連携推進センター長 教授

西村 靖史氏

16:00 閉会

申込方法

下記の①②のどちらかの方法でお申込みください。

①お申込みフォーム

右記のQRコードをスキャンしてください。
※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

②FAXまたはメール

会社・団体名、氏名、メールアドレス、ご連絡先、
シンポジウムの出欠を記載してください。

■申込締切 / 11月19日(金)



申込・お問合せ連絡先

大分大学 産学連携課 産学連携係

TEL:097-554-7970 FAX:097-554-7740

E-mail: tiren@oita-u.ac.jp

おおいた地域連携プラットフォーム <http://bundaicoc.org/>